

等身大の「まちづくり」と当事者性

「まちづくり」「地域創生」という言葉が、すでに一般化している今日、そのニーズは高まっている。しかし、簡単には「まちづくり」を実現できるものではない。

本書は、**当事者性**に注目し、静岡、三重、兵庫、福岡といった地域における**地域の自治組織の形成**やその**取り組みの事例**を取り上げ、その本質に迫る！

第I部 コミュニティづくりのための組織論

- 第1章 日本の地域社会を取り巻く状況と地域自治組織
- 第2章 日本の地域自治を支える組織の形態と類型
- 第3章 国による地域自治組織及び地域運営組織の政策的展開
- 第4章 地域自治組織の現状：全国アンケート調査から

第II部 実践に学ぶ地域自治 —地域自治組織の最前線—

- 第5章 地域自治組織の取り組みと代表的事例の示唆
- 第6章 名張市の地域自治システム
- 第7章 静岡県の地域自治組織—掛川市の地区まちづくり協議会—
- 第8章 兵庫県伊丹市の地域自治組織—地域福祉活動との連携—
- 第9章 福岡県宗像市のコミュニティ政策—コミュニティ運営協議会—
- 第10章 兵庫県明石市の校区まちづくり組織
- 第11章 静岡市のコミュニティ政策と任意型地域自治組織

第III部 実践に学ぶ地域自治

—地域自治とNPO・ソーシャルビジネスの展開及びその支援組織—

- 第12章 旧小学校を活用した地域活性化の取り組み
- 第13章 名張市の新興住宅街の事業展開とコミュニティビジネス
- 第14章 浜松市の中山間地域と集落支援型コミュニティビジネス—夢未来くんまの「生きがいサロンどっこいしょ」を例として—
- 第15章 地域自治組織を支援する組織—三重県松阪市の例—
- 第16章 中間支援組織によるコミュニティ組織の支援について

第IV部 今後の展望と課題

- 第17章 地域自治組織の可能性
- 第18章 次世代社会における地域自治組織のあり方について
- 第19章 近隣政府と地域自治組織—公的組織か私的組織か、決定機能が実施機能か—
- 第20章 コミュニティ政策のこれから

協働

と

参加

—コミュニティづくりの

仕組みと実践—

金川 幸司
後 房雄
森 裕亮
洪 性旭
編著

今春発売予定